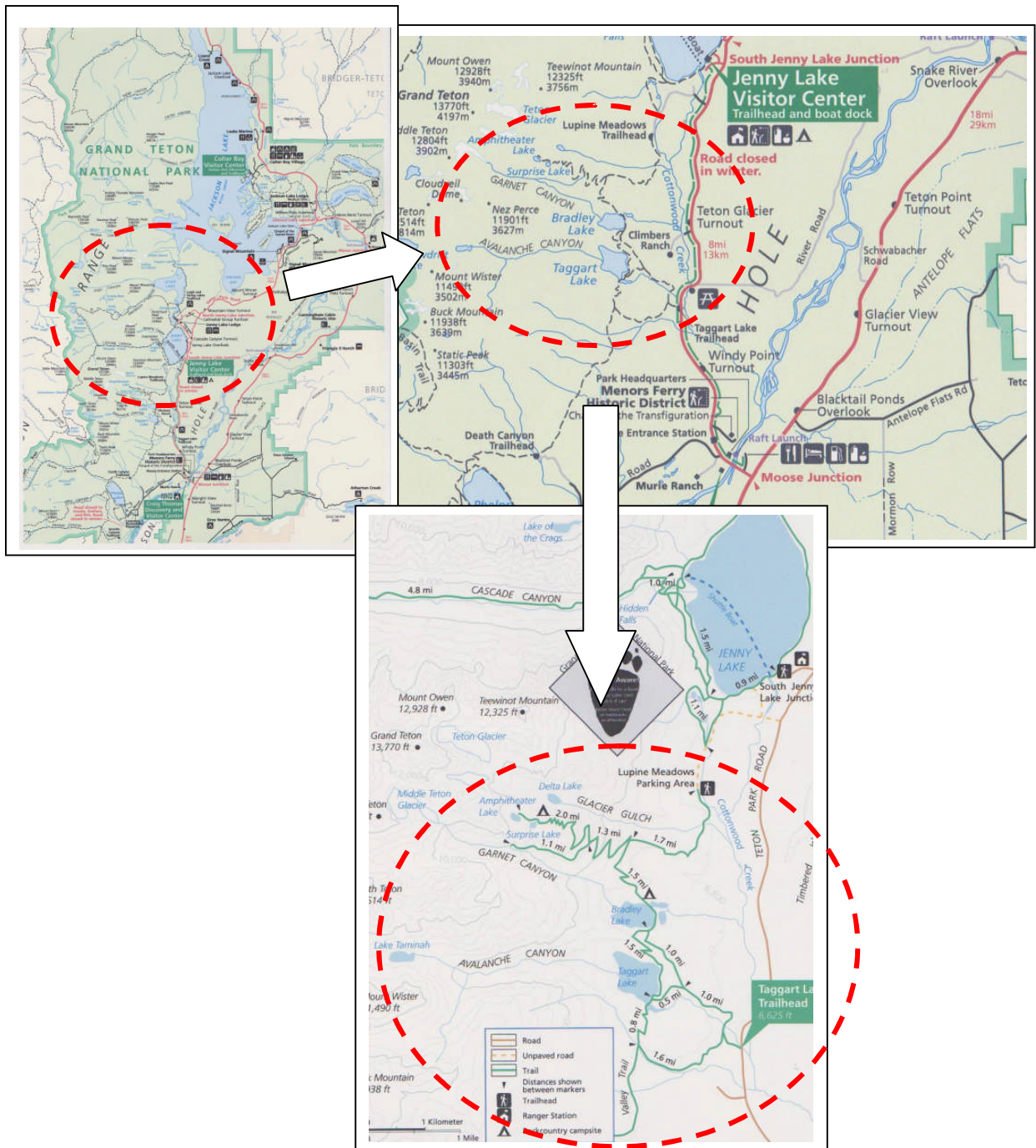
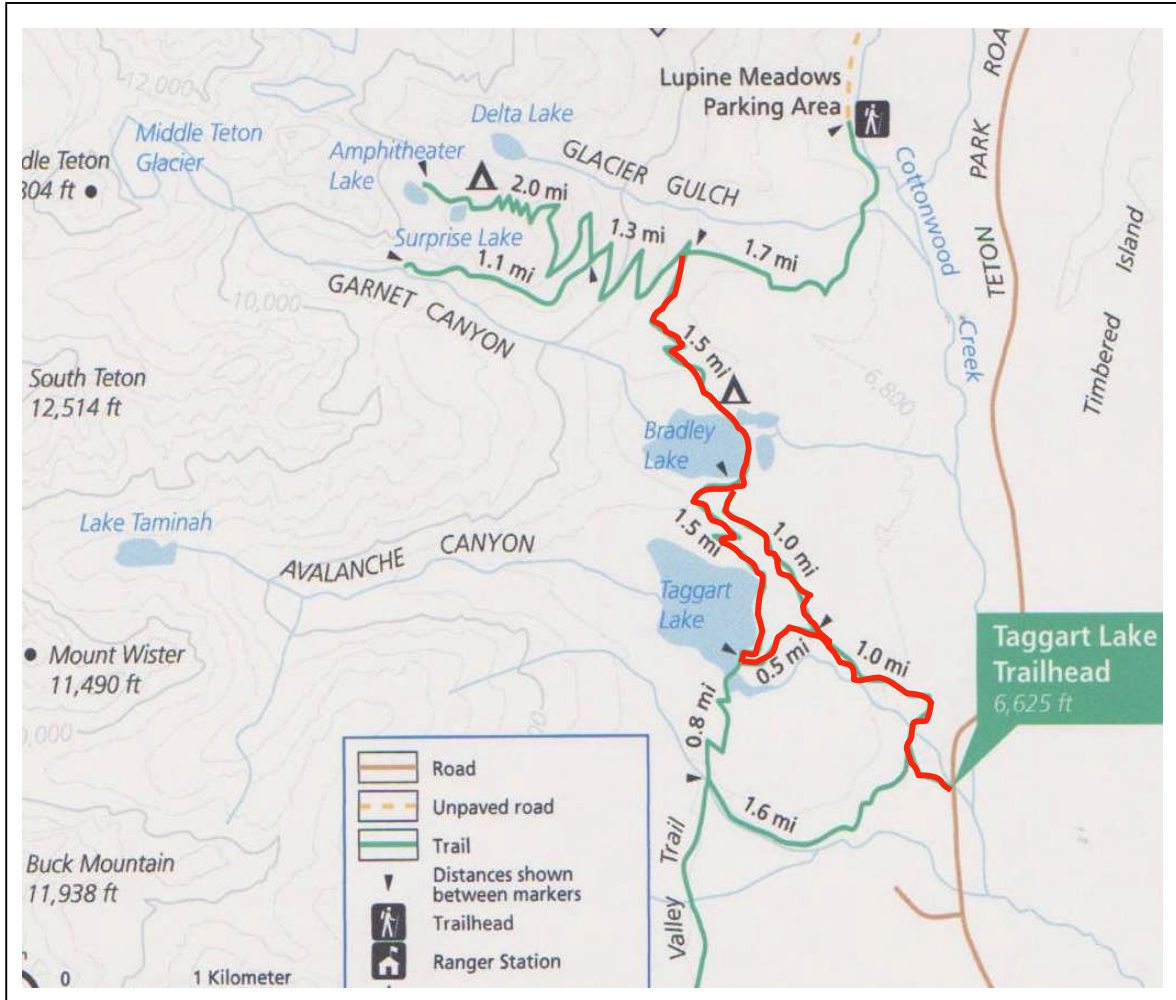


4. ハイキング (2) Taggart (古林)

- 日程：2013年7月1日
- パーティ：秋田(L)、斎藤(幸)、斎藤(光)、星野、古林
- 場所／行程

Taggart Lake Trailheadと近くのLupine Meadow Parking Area からはテトンの中央山塊を正面に見ることが出来る。Taggart Lake Trailhead から入ってTaggart と Bradley Lake を回り込んで正面のテトンへと、行けるところまで行って見たいと考えた。





7月1日

6:22 テント場発

6:45 駐車場着

6:55 " TH発

9:20 三叉路 (分岐道標) 着

10:20 " " 着

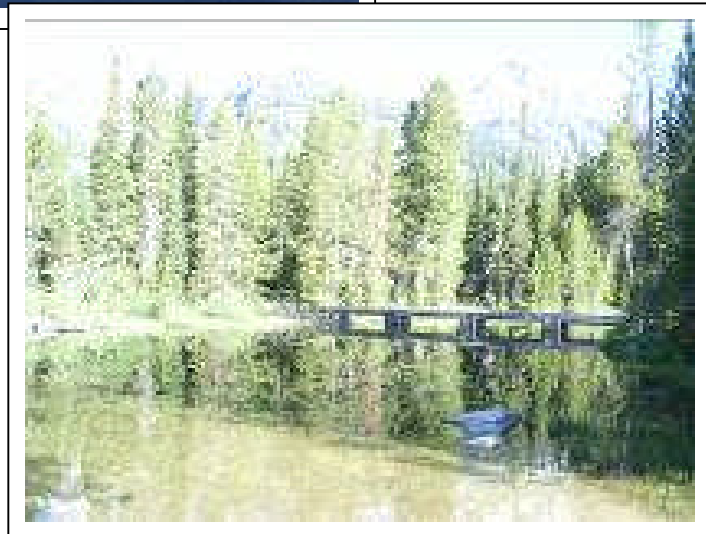
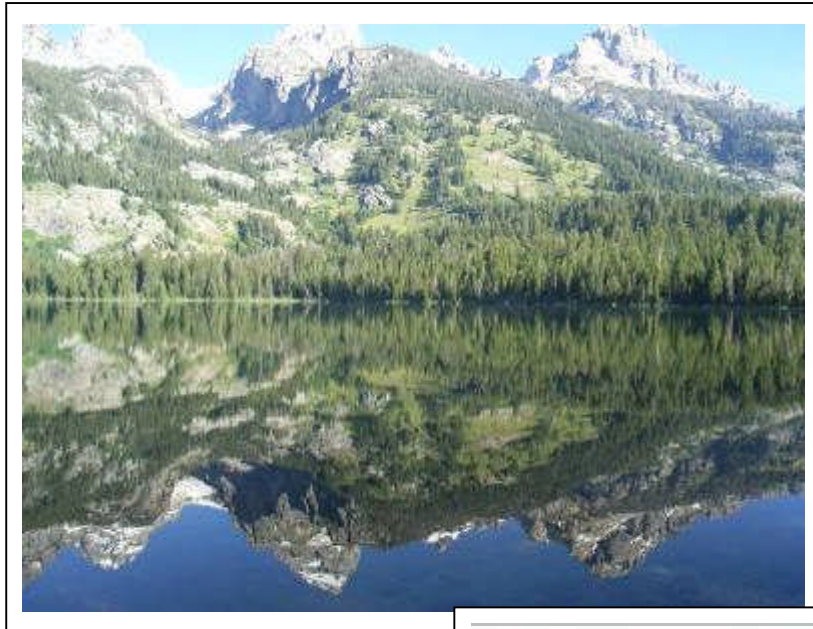
13:20 駐車場着

13:55 テント場着

行程: 4.5 + 3.5 Mile = 8.0 Mile \approx 12.9 km

(1) 選定の経緯

ビジターセンターで推薦された3件のハイキングコースの2つ目のコース。残りの3番目は Phelps Lake を回って Death Canyon から Static Peak を臨むルートで、こちらの方は全員登山として、既に6月26日にトレッキングして来たところである。



(2) 計画

このルートは2つの湖沼を抜けて、その先にある Middle Teton に向かう Lupine Meadows Trailhead からのルートと合流する。先のルートは別働の中道、大塚チームが28, 29日に Lower Saddle まで向かったところである。出来ればこのルートの入り口辺りまで景色を見に行きたいと考えた。

コースは当初は平坦だが湖を越える辺りから山に向かったの登りとなり、Amphitheater Lake へ向かうコースは息が切れそうに思える。10キロ程度の行程で早朝に出れば半日で帰れるかと考えた。

(4) 実行日 (7月1日) 快晴

Taggart Lake Trailhead を出発して、Taggart Lake に到着後、東岸沿いに暫く歩いて Bradley Lake を目指す。Lupine Meadow からのトレイルとの合流地点から Middle Teton に向かって Garnet Canyon のジグザグの登りトレールコースに入る。良い展望があるかとしばらく登るが、なかなかその景観に出会えず、疲れて退却を決める。元に来た道に戻って、Bradley から直進して岐路に着く。

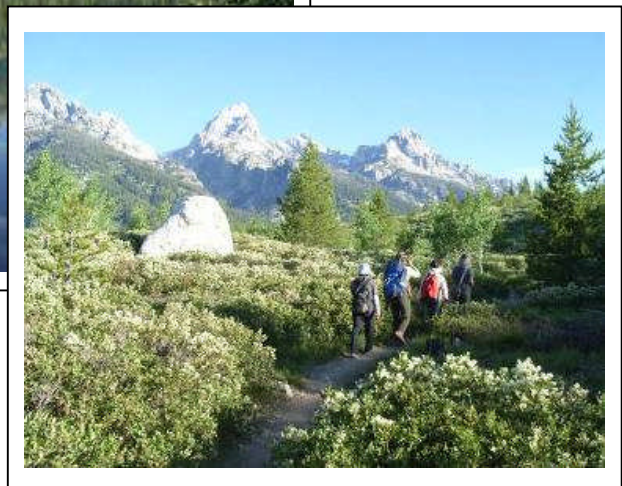
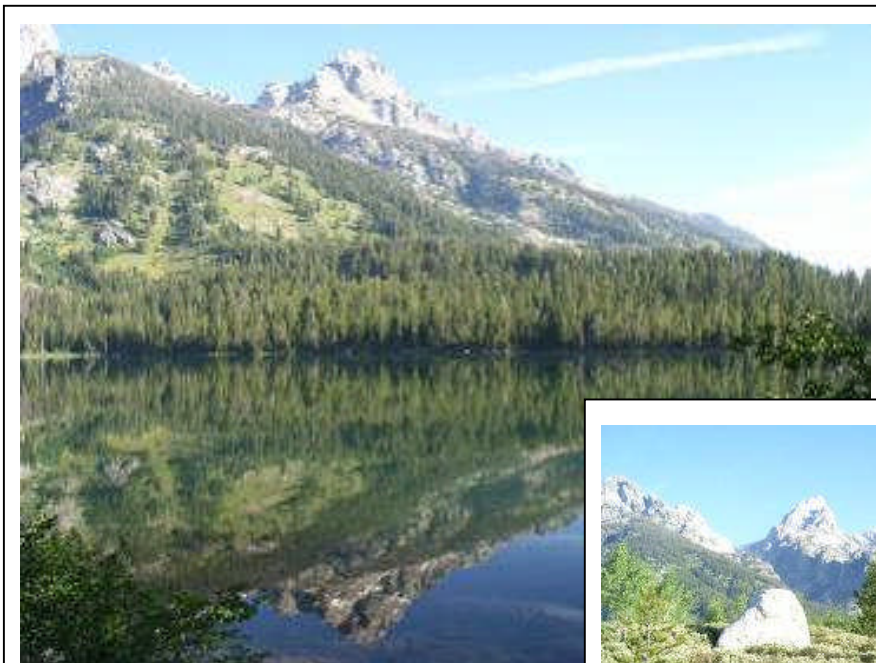
行程：4.5 + 3.5 Mile = 8.0 Mile ≒ 12.9 km

■ 湖に映る Teton の山影

トレイルヘッドから入ってお花畑にある丘陵のルート歩き始めてしばらくすると Taggart Lake にでる。早朝の雲が湖面に下りて水面に棚引きながらテトンの山稜を写し込んでいる、幻想的な映像だ。

さらに鳥の声やせせらぎの音を背に先を進むと次の Bradley Lake に出会う。そこから斜度を上げてジグザグに登り始める。とにかく花の多いこと、黄色い花が一杯で視野を埋め尽くす。ひまわりよりは小さく半分ほどの大きさだろうか、形は良く似ているが、陽に向かって咲く様は全く同じ様子だ。これは Arrow Leaf という名前が付いていた。

紫色の花はそれまで良く見かけたので何かと名前を調べてみると Lupine Flower とある。和名ではルピナスと言って赤や黄色い花が園芸用に栽培されている。当地ではその原生種だろうか、素朴な色形だが、あたり一面を多い尽くすように咲いている。地図を見ると Lupine Meadows という名前がその近くにあったのを見つけて、その由来を納得した次第。



■ 平原を埋め尽くす山野草

G, Teton の山は山裾が真っ平らな平原が高度2000メートルのあたりで台地状に広がっている。特徴的なのは山岳部ではロッキーと言う、その名が示すように岩山の多いこと。その一方で台地のほうでは岩山とは対照的に樹木が少なく草花の多いことだ。平原は勿論、山裾にまでびっしりと何百種類あるかもしれない山野草に覆われている。特徴的なのはラベンダーだ。季節的には7月下旬にでも咲くのだろうか。ほとんどの先端に蕾がついていた。皆が一斉に咲くとどんな景色になるのだろうか、一度見てみたいものだ。香りも好みに違いない、とそう思っていた。

Lupine Leaf



Arrow Leaf



私も含めて皆がそれがラベンダーだと思いこんでいたのだが、調べていくうちにそうではない事が分かった。野草は先にあげた Lupine や、Arrow Leaf をさておいて、この地には Sagebrush (和名=ヤマヨモギ) が 筆頭の地主である。和名ではヤマトヨモギとなっているが、それは Sagebrush という野草である。日本のものとは姿かたちは異なっていて、恐らく原生種だろう。従って、あまり綺麗な花も咲かず、そんな写真がPRされることも無いのである。やっと不思議に思っていた疑問が解けた。

そんな平原を覆いつくす山野草が大きく手足を一杯に広げることで、バイソン、エルク、マーモット、リス、熊に鹿など、多くの野生動物や昆虫などが食の循環を通してこの自然環境を限なく維持していることが理解できたに思う。



ラベンダーと間違えた Sagebrush の群生



挨拶に立つリス

(5) 評価

全行程は地図上で13キロであったが、やはり前のコースと同様に、表示されているマイル数と実体感の距離では5割ほどの差が感じられた。結果的に朝の7時に出発して、午後の1時過ぎに出口に到着。あまり休みも取らず、ひたすらに歩いた時間なので、やはりマイレージ表示には不信感を持たざるを得ない。疲れが残ったものの、その美しい花や湖の造詣に充分癒されたハイキングであった。